

キッズみんなの日記

2025
高原教室
特別号

十月に入った途端、急に冬のような寒さになりましたね。朝晩は息が白くなるほど冷え込み、思わず厚手のコートを探してしまっ日もあります。ほんの少し前までは汗ばむ陽気だったのに、季節の移り変わりの早さに驚かされます。そんな中で思い出すのが、八月に実施した高原教室です。街では猛暑日が続いていましたが、あどきの高原はまるで別世界のように爽やかで、朝の空気がひんやりと心地よく、木々の間を吹き抜ける風が本当に気持ちよかったです。覚えていてます。子どもたちはそんな自然の中で元氣いっぱい活動し、笑顔を輝かせていました。

さて、今月号の「みんなの日記」は、高原教室特別号として、最終日に書いてもらった作文を掲載しています。それぞれが体験した出来事や感じたことを、自分の言葉で素直に綴ってくれました。寒さが増す季節ですが、読んでいると心がほっと温かくなるはずですよ。それでは、「みんなの日記」高原教室特別号をどうぞお楽しみください。

優秀作品紹介

★感じたことをストレートに★

高原教室の思い出

私は、高原教室に初めて参加しました。さいしよはどきどきしたけど、楽しかったです。まず一日目はホテルについて同じへやの人といっしょにおべんとうを食べながらいろいろなことを話したのしかったです。

一日目はテストで苦戦して、あまりあ

そへませんでした。

二日目は苦戦していたテストをぶじ終わらせて、へやにもどりはうこくすると、へやの二人が「おめでとう。」とほめてくれてどうもうれしかったです！そのあとトランプや、たくさんお話をしてじかんはあっというまにすぎました。夜になるとたくさんお話をしつつかれて二時になるまえにねました。

三日目はこの作文を書いて、「たーくさんまだおはなしてできるといいな。」と思いました！

(小五 SCさん)

高原教室で新しい友達が出来たようですね！まだまだ話足りないようですか、これからの梨ゼミライフで、また、来年の高原教室でたくさんお話してくださいね！

楽しかった高原教室

私が高原教室に行つて得た物は目標を達成する強い気持ちです。理由は



テストを終えて遊ぶことができたということはテストを合格するという強い気持ちを保持することができたということです。なので、これから目標に取り組むときは強い気持ちを持つことをわすれないようにしようと思いました。また、その強い気持ちを持つには努力が必要だと思えます。私は、あまり努力をしようと思いません。理由は大変だからです。けれど、今回テストを終えて、遊んでいたとき努力はわくわかれるのだなと思えました。なので、これからも目標を達成出来る気持ちを忘れずに、色々

なことに取り組んだり、ちようせんしてみたりしようと思えました。また、努力をするのを忘れずにいろいろなことにちようせんしてみようと思えました。

(小六 KHくん)

これこそ高原教室を開催する意義そのものです！今回得たその強い気持ちを忘れずに、これからも力強く歩んで行つて欲しいと思います！頑張ってください！

★思い出を表現豊かに★

助け合い

私が今回の高原教室で身につけたことは、助け合うことです。助け合いが身についた場面はいくつかあります。まず一つ目は、一日目の広場でお昼ご飯を食べる前の時の事です。私は声が大きいことから、リーダーに選ばれて、最初は正直不安でした。けれど部屋が同じ子達は「大丈夫だよ。私たちも手伝うからね。」と優しい声をかけてくれて、不安がほぐれました。



二つ目は私がテストに合格できなかったことです。最初はすぐに合格出来るだろうと思っていたけれど、再テストを受けた回数とは約六回受けれなくやしや友達があふれてきました。けれどそんな時には、合格した友達が勉強を教えてくれて、最後まで諦めずに合格することができました。

このような事をこれから学校生活、そして社会へと活かしていきたいです。

(中一 TMさん)

友達存在って大きいですよね。友達がいるからこそ、頑張れることってたくさんあると思います。そういう大切なことを再認識できたようですね。これからも友達を大切にね！

達成感を感じた高原教室

私が高原教室を通して得たことは目標に向かつて努力することです。私は一日目の初めのテストで今まで勉強してきたことをはつきして合格できることを願ってテストにのぞきました。三科目のテストが終わわり、テストの結果を聞くと数学だけが合格せず、くやしき思いました。国語と英語が合格していて、今までたくさん書いて暗記してきた結果が出て嬉しかったです。数学は再テストになり、私は三回目で合格することができました。テスト二回目をやっても合格できずにいたけれど、あきらめず自分で理解しながらがんばつて合格できるように勉強しました。そして、三回目のテストでゆっくり時間をかけて次には合格したい、という思いでテストを受けました。そして結果を聞いた時、安心感と達成感を感じることが出来ました。高原教室で学んだことを活かして、学校のテストも努力したいです。

(中一 EKさん)

「達成感」も高原教室で学んでほしいことの一つです。これを知ることで、頑張ろうという意欲が湧いてくるのです！学校のテストで好成绩を獲得できることを祈っています！

高原教室での学び



私はこの高原教室を通して、団結することの大切さを改めて知ることができた。私は部屋のリーダーとして、ルームメンバーをひっぱつていこうとしたのだが、それが上手いかなかった。声かけや呼びかけ、注意が少なかつたのか、全員の片付けや準備が終わらず、時々集合時間ギリギリになってしまつたり、遅れてしまつたりすることがあった。それに加えて、

合格



おかしなどのゴミが散乱していた。リーダーとしてルームメンバーをひとつにまとめることが出来た。今回の高原教室で出た自分の課題、自分たちの課題、そして全体で出た課題の解決に向け、今回見つけた「団結力」という課題に向き合っている。来年の最後の高原教室を前回、そして今回よりもよいものに、梨香台ゼミナールでの最高の思い出を作りたい。



（中二 TYくん）
高原教室は自分を見つめ直すことが出来るという一つの魅力です。自分を見つめ直し、そこから課題を見つける。そしてそれを解決することによって成長する。頑張れY君！

不可能も可能になる！
今回の高原教室で私はすごい成果をあげたと思う。それは、テストで一位になったこと。去年は五位ほどだったので順位が上がってとてもうれしかった。だが、それだけではない。



高原教室に来る前に先生からよくある質問をされた。「部屋の人達と話せる？」という質問だ。私はその質問に対して即座にNOと答えた。なぜなら、部屋には三人も話した事の無い人がいたのだ。それに私は初対面の人に話しかけるのが苦手だ。なのに先生は、「Yならいける。」と何度か言ってきた。確かに私も話しかけないと、という考えは持っていた。先生や自分の気持ちに伝えるべく、勇気を出してみた。結果は大成功！思っていたより相手も話しやすい。最高の三日間になった。このようにことから、無理だという先入観を捨てて行動してみるのも案外悪くないなと思う。

（中二 Yさん）

そうです！最初は緊張しても高原教室ではみんな仲良くなるんです！今までと違う自分になれるもの。こういった環境ならではですね！これからも友達を増やしてね！



☆☆☆想いをより具体的に☆☆☆

高原教室

私は高原教室に行くまで不安でいっぱい、行きたくない気持ちが強かったです。話したことがない友達と二泊三日過ごすことは初めてでとても緊張しました。ですが、三人とも優しく、話しかけやすくてとても安心しました。私が問題に困っているとわかりやすく教えてくれたり、合格したら一緒に喜んでくれて仲間の大切さを学びました。だからこそ、もっと勉強していればみんなと楽しい時間が過ごせたので努力できなかった自分に悔しい気持ちが残りました。



私はこの高原教室を通して、仲間の大切さと何事も準備することを学びました。仲間がいるからよりがんばろうと思えることを実感しました。そしてまた悔しい思いをしたまま受験をむかえないようにしっかりとまえまから準備をしたいです。



（中三 KAさん）

悔しいという気持ちは人を成長させる大切な気持ちです。そして、仲間は人を強い気持ちにさせます。この二つを大切に、受験に向けて頑張ってください！応援していますよ！

新たな武器

今回の高原教室では、勉強だけでなく、色々な物を得ることが出来た。その中でも、自分の新しい梨ゼミの仲間を見つけたことがこの旅での一番大きな出来事であった。僕は、この梨ゼミで普段たく



さんの人と会話をし、それが自分の勉強への大きなモチベーションとなっていた。しかし、まだしやべったことのない人、関わりがなかったことのない人は、まだまだ自分の中でいたけど、この旅ではそんな人とも気軽に関わって、その人のいろいろなこと知ることが出来た。これは、ただただ新たな友情を見つけたわけではない。これから一緒に受験に向かっていく仲間、そしてライバルを増やせたという事になるのだ。だから、僕はそんな仲間を無駄にすることなく、自分だけの武器として使っていきたい。



（中三 Yくん）

「うんうん、その通り！」と思わず頷いてしまう作文です。梨ゼミの良いところは、こうやって一丸となって受験と戦うところにあります。皆で切磋琢磨しながら、これからも頑張りたい。



受験生の自覚
今回の高原教室は、受験生としての自覚をより感じさせられた合宿

だった。中学三年からテストの教科が三教科から五教科になり、一教科ごとのテストの量も増えた。一年生、二年生の時のように、勉強をしていた私は、勉強量が足りず、テストの内容に全く追いつけていなかった。そこで、私は今までのように勉強してはいけなないと思い、必死で高原教室のプリントとにらめっこをしていた。そのおかげで、テストは無事に合格したが、中学三年生は受験生なのだというのを改めて感じた。テストの内容に追いつけなかったように、受験勉強もそのようにやっていたら行きたい高校に落ちてしまうだろう。これからは、もっと受験生としての自覚をしっかりと持って、これからの勉強に努めたい。

（中三 KMさん）

受験生としての意志を強く感じる作文ですね！志望校に合格するためには弛まぬ努力とそれを実行する意志が必要です！応援していますよ！頑張ってください！



全力全進

私はこの高原教室で学んだことが一つあります。それは最後までくじけずにがんばるということです。



私は、課題テストで数学だけが残り、三回、四回と何回受けても不合格でした。自信があると

思ったら不合格というものがたくさんあったので、もう受けたくないと心がおれそうになりました。でもそのたびに「あと少しで終わるからがんばろう」、「みんな待っていて」と考え直して、最後まで全力を出して少しでも早く部屋へ戻ろうと思いました。

私は苦手な科目や問題がたくさんあります。でも今回学んだ力をバネにがんばって練習したいと思っています。受験勉強に嫌気がさし、やる気をなくしても、決してくじけずに最後まで全力を出したいです。



（中三 SYさん）

受験は辛い苦しいものです。時には心が折れそうになることもあるでしょう。しかし、辛くても心を奮い立たせて、頑張るしかないんです。それを学ぶ良い機会になったようですね！先生達も全力でサポートしますよ！

●「キッズみんなの日記」に関するご意見・ご感想は、info@kondai.comまたは、編集担当▼藤田 n-fujita@kondai.com まで、ご返信ください。皆様ののご意見を参考に、より良い紙面作りに努めて参ります。